

月刊反トマホーク通信 No. 6

86. 4. 10

東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502 トマ喰い虫社 ☎ 03(498)6095

反トマホーク 世界同時行動デー



この日世界の海は反核でつながる

◆3月に入港した原潜

1日（佐世保）ブレマートン（ロス級）／
4日（横須賀）ボギー（スタージョン級）／
5日（横須賀）バーミット（スレッシャー級）／
12日（横須賀）ブランジャー（スレッシャー級）／
16日（横須賀）ブレマートンそして
29日（横須賀）フラッシャー（スレッシャー級）の6隻でした。

◆空母ミッドウェーが佐世保と横須賀に入港
半年かけての大改修が始まります。現地では
監視や抗議の行動。冬眠する間もなかったト
マ食い虫たち、元気です。（編集部）

◆春風にのってホット・ニュース。この夏か
秋にも予定されていた英國核艦隊のニュージ
ーランドへの寄港が取止めになった模様です。
計画が発表されるやいなや反核運動がとつ
た素早く、きっぱりとした行動が事態を決め
た最大の力であったことは間違いない。とい
いえ「リムパック」参加を中心とした英國核
艦隊の「大航海」（その名も大きく「グロー
バル86」ときました）は中止になったわけでは
なく、オーストラリア、太平洋諸国、極東
への訪問計画は生きています。「本当の非核」
をめざす人々にとってこれはどのような意味
を持つのか？いかに向合うのか、に今号で
は焦点を当ててみました。



あなたも全国運動の会員に

●維持会員（月間会費）

団体 1口 2000円
個人 1口 1000円

●参加会員（月間会費）

団体 1口 1000円
個人 1口 500円

●通信会員

年間2000円

乙の非核の”日本化”は半ば成功ということになるだろう。核疑惑艦の個々の許可判断が限りなく甘くなるという突破口が開かれる。

日本国内におけるこの力関係は、二年前にはまだ私たちに有利であった。一旦、日本への寄港を打診した軽空母が、核疑惑のためにに入港を断念した実例がある。

一九八三年、十二月九日、防衛庁はイギリス海軍の空母インビンシブルを旗艦とする機動部隊が翌年二月上旬に日本を訪問する予定であると発表した。ところが、当時、オーストラリアに寄港していたインビンシブルが核積載の疑惑があるとしてスコールズ豪国防相がシドニーへ飛来となり、国会論議がおこるとともに、神戸港軍造船所のドック使用を拒否する自体が起つたそのことが日本のマスコミが大きく報ずるところとなり、国会論議がおこるとともに、神戸港

ble) と核積載(nuclear-car-ry-ing)とは異なると主張し続けたいと思つたが、イギリスの核可能艦が核積載でないことを立証しなければならない立場に立たれりふる。

反核運動 女王陛下の核警報を止めよう

卷之三

(續集)

月30日付の毎日新聞によれば、ロン相は香港で記者会見し「英國艦隊のは無い」と発表した。本文の趣旨は的には変わらないのでそのまま掲載。ニュージーランド草の根反核の素動きによるすがすがしい勝利によつて上るのはこの日本。どうなるのか

卷之三

核疑惑艦船の核ヒックをそれ自身のテーマとしてやむなけば入港を許可する明分はないのである。逆に日本政府は、従来のように米艦船にひかべ、核可能 (nuclear-capable)

横須賀市や神奈川県の対応も同様である。日本政府の安保・事前協議論を逃げ口上にして、自治体の責任を回避してくることが許された。

従来、日本政府は安保の事前協議制を隠れ蓑にして核疑惑艦の核チェックを怠ってきた。つまり、アメリカから日米安保条約による事前協議の申し入れがない限り核の持ち込みはありえない、と言つて核艦船の入港を許してきたのである。

伝を開始し、寄港反対運動に乗り出している。

(「全國運動」代表)

視点

NZの“日本化”？

樹林冠道

● 85年12月18日 英国防省、海軍機動部隊の
北太平洋、極東、オーストラシアへオース
トリアおよび周辺及びインド洋への展開
計画を公式発表。「グローバル86」と名付け
られたこの計画に参加するのは以下の7隻で
ある。軽空母「ラストリアス」(イングランド
級)、支援艦「フォート・グラント」、オルメダ
ル級)、「ベイリーフ」(フリゲート艦)、「バー」、駆逐
艦「マンチエスター」、アマゾン(艦種不明)出
発は4月14日。寄港地など計画の詳細はおつ
て発表。「英海軍ニュース・リリースNo.83」
● 85年12月22日 反核艦船連合(CNW)は
これら7隻のうちタンカーのベイリーフを除
いてすべてが核搭載可能であると発表した。
搭載する核は対潜ヘリコプター用の核爆雷(一
すべて共通)およびシーアヒリアー・シェット
機用の核爆弾(「イラストリアスのみ」)である
。その根拠として同連合が挙げているのは、
81年英国防予算書およびジョン・ノット国防
相のレポートへ「NATO REVIEW
81・4」である。さらに83年にインビンシブル
ルがウエリンガ顿に入港した際に乗組員によ
る内部告発があつたことも根拠の一つとされ

の入港拒否、原水禁、原水協、総評などの反対声明があつついで、ついに日本政府も「核抜き保証」を前提とした入港受け入れの方針を貫いたのである。最終的には十二月二三日、イギリスは寄港を断念してこの問題は決着した。

日本の全体状況が悪化する中で、より国際的に責任の思ひ局面を、私たちはむかえようとしている。

さに、レーガン・サッチャー・中曾根の陰謀である。

れる。その法案の最大のポイントは、艦船の入港の許可に当つては、諮問委員会が勧告をし首相が判断を下すと言うものであるが、そのテスト・ケースが米艦ではなくイギリス艦船による可能性が強い。アメリカ艦船ブキャナン拒否をひきがねに具体化していくこれまでの経過や、NZが女王様の国として国民の中にイギリスへの特別の感情があることを考へると、ロング政権にとつては、アメリカの場合よりも厄介な課題を突きつけられることになる。そこに中

現在、NZでは非核法案の国会審議が進行しており、六月～八月の成立を期していると言わざるを得ない。しかし、この問題は「拒否するのか」として、ロング政権の非核政策のかたくなさを印象づけ、その切り崩しに使われる可能性がある。

データ・シート

環太平洋合同演習

リムパック'86

- 主催 - 米国第二艦隊
- 参加国 - 米国、カナダ、オーストラリア、日本、英國（前回まではニュージーランドが参加）

○演習期間 - 5月18日から約45日間

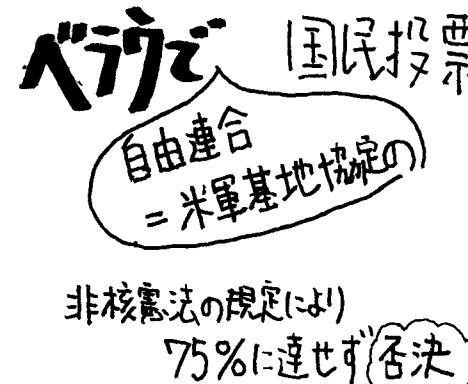
○演習海域 - ハワイ周辺（実際は千島やカムチャツカ半島のソ連基地に対する攻撃を擬しているものとみられる）

○参加規模 - 前回までは表のとおり。（今回はまだ不明）

（）内は日本の参加数

実施年月日	日数	艦艇	航空機	人員
71.11.8 ~ 11.22	15	?	?	?
72.9.5 ~ 9.14	10	?	?	?
73.9.11 ~ 9.21	11	23	200	1万4000
75.3.11 ~ 3.21	11	31	200	1万7000
77.2.17 ~ 3.11	23	38	225	2万0000
78.4.4 ~ 5.4	31	42	225	2万2000
80.2.26 ~ 3.18	22	41(2)	200(8)	2万0000(720)
82.3.22 ~ 4.29	39	62(3)	120(8)	2万9000(940)
84.5.15 ~ 6.29	46	80(5)	250(8)	5万0000(1400)

リムパックの参加規模



(5)

ベラウ（パラオ）で自由連合協定＝米軍基地化協定をめぐる三度目の住民投票が、さる二月二十一日に行なわれた。ベラウ非核憲法では、住民投票で七五%以上の承認をえないかぎり原発を含む一切の核を拒否することが明記されており、これまで二度行なわれた自由連合協定の住民投票では、賛成が七五%に達せず、否決された経過がある。

今回の投票結果は賛成七二%。非常に高い得票であるが、今回もまた非核憲法の規定にしたがって否決されたと見るべきである。

しかしベラウ政府は、過半数で承認されたと発表、一方の米国は、ベラウ政府が決めること

として追認する動きをみせている。

今回の自由連合協定では、「米国はパラオ領内において戦争に使用することを目的とした核兵器、化学兵器、ガス、生物兵器を使用、実験、貯蔵、あるいは廃棄しない」と、ベラウ憲法に抵触しないかのようにみせながら、それにつけ、「パラオ政府は、米国政府がパラオ領内において核積載可能なまたは原子力推進の艦船、航空機を運用する権利を持つことを認め、米国はそのような兵器の有無を肯定も否定もしなくてよい」と明記している。

まさに日本の非核三原則空洞化のやり方をそっくりベラウにおいて行なおうという条文である。米国にとって太平洋における核配備とは、いってみれば核を積んだ艦船が自由に通過・寄港できることにあるわけで、日本式のやり口を使いながら、ベラウ非核憲法の骨抜きをねらつたといえる。

今回の住民投票については、様々な問題が指摘できる。まず第一に、今回の住民投票は自由連合を承認するか否かについてだけであつて、本来ならば信託統治後の政治地位として「独立」が当然選択の一つに入るべきこと。第二に、すでに述べた核に関する問題。当然のことながら七五%の承認が必要である。第三に、投票のやり方。協定文は英文で四〇〇ページにおよぶ難解な法律文書であるにもかかわらず、日程が決



荒川俊児（反核・シフィックセンター東京）

京都発 3月2日、京都トマ連の主催による「日米韓実戦体制を撃つーピキニから32年、アジア太平洋民衆とともにー」集会。三条ヶ原から丸山公園まで三十数名でテモジをまく。

岡発 3月30日、トマホークの配備を許すな！市民の会主催で「反核、反チームスピリット・ウォーキング」市内の広駅から弾薬庫前まで三十名が歩く。一千枚のチラシをまく。

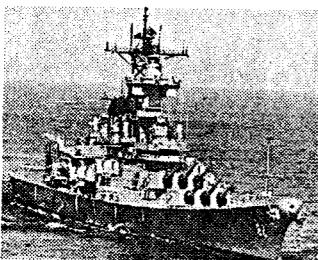
首都圏発 「東京」3月1日「核のない太平洋をつくりだそうー反核太平洋の日」3・1集会（自主講座など四団体がよびかけ、首都圏運動の賛同による）に三百名が参加。「三多摩」3月2日三多摩実行委主催による「横田・立川反基地ツアーア」同日、地区労主催の反チームスピリット集会。3月16日、チームスピリット86抗議第二波集会・テモに一五名。3月21日、反トマ首連運動よびかけによるチームスピリット86抗議行動。一三五名でアメリカ大使館へデモ。「横須賀」3月31日、リムパック86への自衛隊参加中止をヨコスカ、反トマなど六団体よびかけで申入れ五十名でテモ。

○演習内容 - ハワイを敵「オレンジ軍」が占領したため、「ブルー軍」が奪還に向かう。日本は水上艦艇、航空機は「ブルー軍」とP3リコブター8機からなる「八八艦隊」とP3C対潜哨戒機8機、および潜水艦1隻。

○自衛隊の参加規模 - 新鋭護衛艦（「しらね」五二〇〇トンなど）8隻、搭載する対潜ヘリコプター8機からなる「八八艦隊」とP3C対潜哨戒機8機、および潜水艦1隻。

○核トマホーク使用を想定 - 前号で紹介したワトキンズ論文「海洋戦略」と重あわせれば、この演習のすべての局面で核トマホークの使用が想定されているものとみて間違いない（構成編集部）

米戦艦ニュージャージー



8月、日本に寄港する米戦艦二
ユージャージー = A P

艦ニユージャージー（四五〇〇）は八月、長崎県・佐世保か神奈川県・横須賀に寄港させたのであることを明らかにした。非公式な通知ながら、米側は今回の寄港実績を強調する意図を示しているという。実現されば、同艦が巡航ミサイル・トマホークを装備して現役復帰後、初の日本寄港となる。将来、同艦または同級艦の基地を日本に求め

佐世保が横須賀へ 核積載めぐり論議必至

が横須賀へ

公爵

を許すまい！

ニユージャージー

3度目の報道

時期は8月!?

入港を許すまい！

私たゞの反核太平洋宣言

私たちちが太平洋の人々に目を見開かされたのは、日本の核廃棄物海洋投棄計画に反対する運動のなかででした。そして太平洋の人々とのつながりをつく、これからうちに私たちは、核のない太平洋をおさず彼らのたてかいが、私たちにと、とも、全世界の人々にと、とも、非常に重要なたかいであるという認識を深めさせてました。

太平洋の人々は、第二次大戦中に日米の戦争の戦場とされて犠牲を強いられたうえ、戦後は大国による総計200回を超える核実験によ、乙核被害とうけ、さらに生みの基盤である海と島々と、軍事基地がひしめき核艦船がゆきかう、核爆発のせいでいいの場に変えられてしまうのです。太平洋の人々の反核の叫びには、これら大国の暴挙に対する深い憤りがこめられています。

同時に、太平洋の人々の反核運動は、かのマゼラン平航以来、400年にもわたる、虐殺と収奪の限りをつくして至た大国の植民地支配に終止符を打ち、独立と民族自決をからとうとするたたかいと一体のものとなる、といいます。植民地支配こそが、核支配を可能ならしめているからです。

いうまでもなく、本来日本の私たちもまた太平洋の一員であり、核のない太平洋をめざすことは、私たちの課題であるのです。しかし、ヒロシマ・ナガサキを経験した核被害国である日本は、今や32基の原子力発電所を稼動させているにいたり、ウラン採掘や核廃棄物海洋投棄計画にみられるように、太平洋住民に対して核のかた害国にならなければなりません。さらに日本は、米国の核戦略に加担し、「シーラーン防衛」や「環太平洋圏構想」などを掲げて太平洋への経済的・軍事的影響をかけ、太平洋の人々のたたかいいにまゝ、こうかう対立する存在になってしまいます。

私たちはこうした状況を変えてゆかねばならないと思います。そしてその際、太平洋民衆の側からみたとヨ日本という国家のありようがは、ヨリとみえてくる——この、太平洋の人々とのかかりわりのなかで、^{学生たち}視点を大切にしながら、私たちの反核太平洋運動をつく、やさしいと考えるのです。

太平洋の人々は、長い歴史のなかで海との共生文明をいくつももつた。ミクロネシア連邦の憲法の前文にある「海はわれわれを分かつものではなく一つにしてくれる」という言葉には、海に支えられて生きてきた人々の思いが結晶しています。この言葉は同時に、自然と人間の収奪のうちに成り立った、という現代物質文明を告発し、さらにそれを越えていく人間的な解放にむけた生き方などを示唆しているのではないでしょうか。

私たちには、核による、その他者を抑圧しない、として抑圧=平を償さない道を選びとこうと考えます。太平洋の人々とともに核のない太平洋をつくりたいこと——それが私たちの選ぶ道です。それは私たち自身を核から解放する道に他なりません。

力をあわせて、核のない太平洋をつくりたいしていきましょう。

1986年3月1日

「核のない太平洋をつくりたがう 3・1 東京集会」参加者一同



在日米海軍の情報中枢 上瀬谷基地の任務

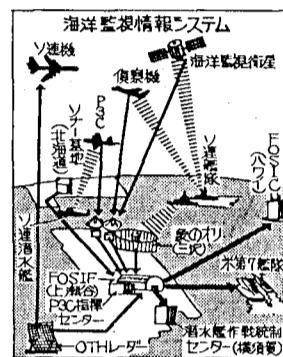
86.3.27 金日成

横浜市鶴見区にある米海軍・鶴見通信基地が、最近注目を浴びている。防衛省が組立する予定のOTH（超電磁砲）レーダーの解析を、米海軍がここでやりたいとしているからだ。米海軍は、開拓地で艦載機作戦統制センターを建設する計画も持っている。サンマミモ煙やニンジンの煙など真ん中へ広い敷地にアスリ수가立ち、警戒が厳しい地下施設がある上鶴見通信基地では、一体、どんな構造をもつ基地なのだろうか。

核爆発防護策も要求

第七艦隊の目と耳を強化

地に立つて、水兵たる階級との連絡
を中止してゐる。この事は、文部省
が、いよいよこの基地の重要な
任務が、（一）指揮、（二）統制、通
じて、もと練習船分遣隊を残し、独自
の聯合艦隊を編成することにして、同様



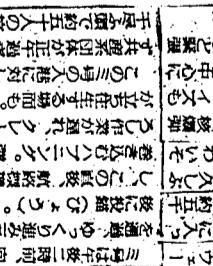
3. 26 (毎日)

兵の通勤、留置



3.26 (四)

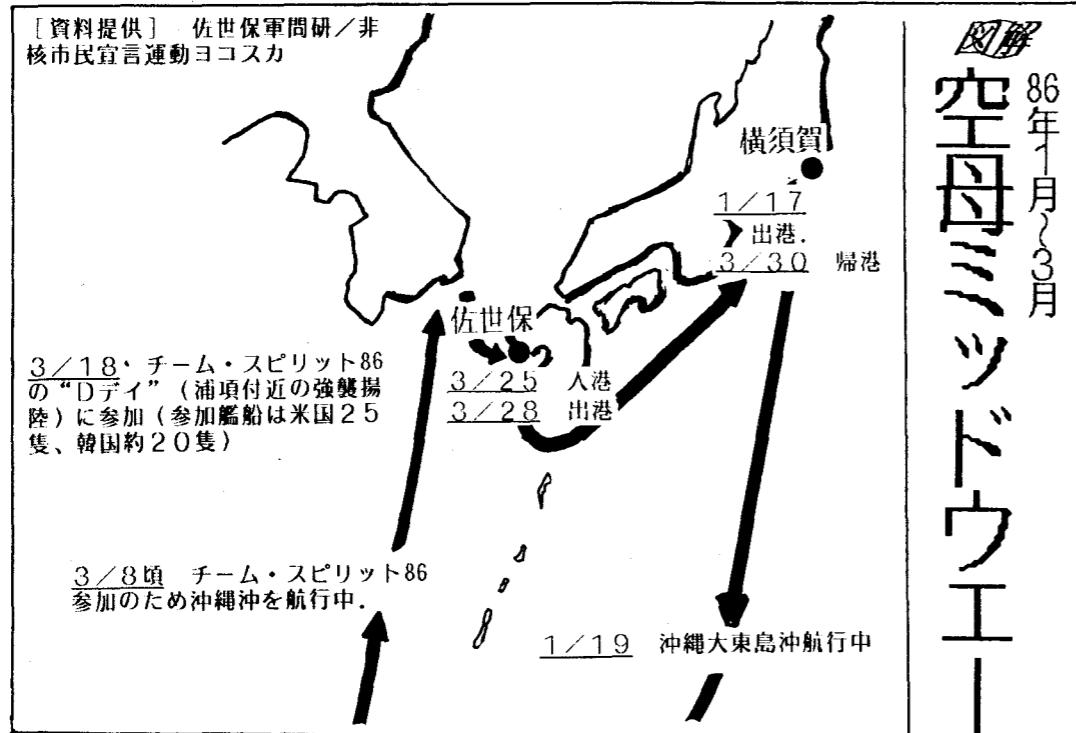
米酒用。唯健脾入益氣藥。



核も工イズも反対

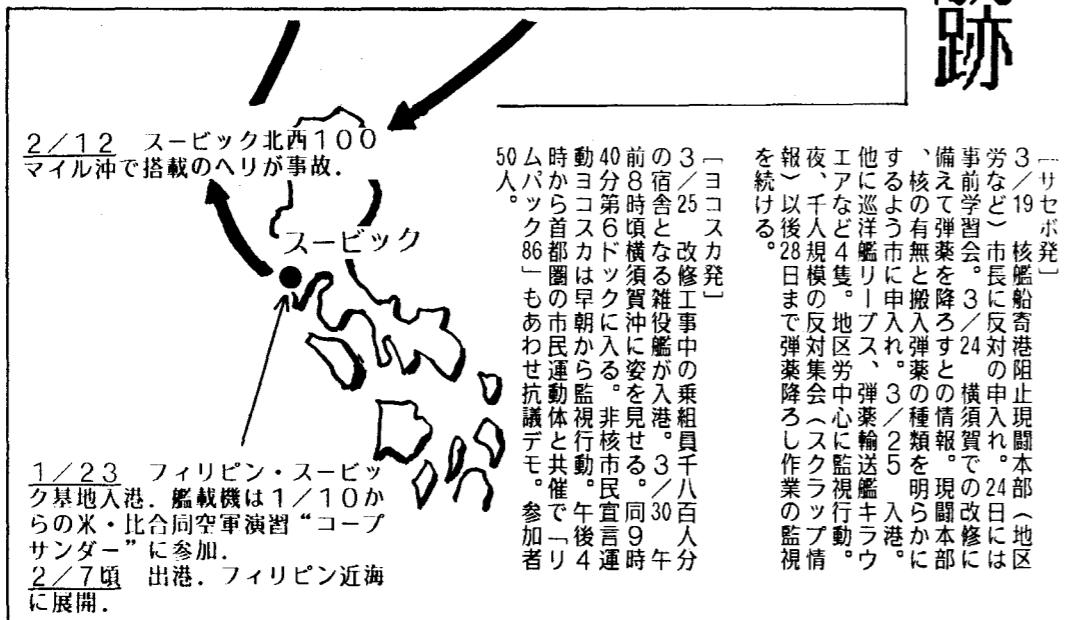
朝
神奈川県
（五一、〇〇〇）
米海軍の空母
III-44

●本日の非核へ!!!



空母ミッドウェーの航跡

フィリピン・韓国への軍事介入の航海から母港ヨコスカへ帰った核搭載空母を待つのは艦載機強化のための六か月の大改装。積んでいた核は今どこに？



3. 20~21 アトミックカ
フェ深夜営業／反チームス
ピリット集会に(東京)

各国からメッセージ

反トマホーク・アジア太平洋運動・国際コードイニシアター
ネルソン・フォスター

しかし、いま、太平洋の各地で、着実に運動が広がりつつあります。しかも、この運動は、北大西洋や地中海の運動とも連携を始めました。

私たちは日本のみなさんが、当初果たしたこの運動への先導的な役割を評価します。日本がニュージーランドのように核艦船の入港を拒否するならば、それは世界の反核運動に限りなく貢献するでしょう。

今年六月、私たちは、二度目の世界同時行動を予定していますが、日本では、六月二九日に横須賀に集まろうと話合っておられると思います。この六月二九日、横須賀に一人で

か私たちの歩む出でたが、これが
一步に大きな勇気を得てしていることを知つて、
私たちは強固として抵抗してきました。
私たちの非核の立場は、国際平和年である
今年の末までは法律になるはずです。
私たちには日本の非核政策から多くを学びました。
した。そして、今後とも、私たちは核エンジン
を要求し続けてゆくでしょう。私たちは、
いつの日か、日本の政府も、核エンジンを要
求するようになることを期待しています。あ
なたの方の「小さな一步」が、私たちにとって
も大切なことです。

連帯をこめて、そして、昨年の暖かい

ゆる種類の兵器に反対します。私たちはある国民が彼らの武器をハンマーと鎌に変たとき、はじめて平和が達成されるものとじます。人間の歴史のなかで、今ほどこの平和が切望される時代はありません。

私たちは、チームスピリット⁸⁶に抗議するトマホークの配備を許すな／全国運動」日本人民の支持を呼び起すのに成功するとを希望するものです。

トマホークのみなさん、人民の勝利万歳!!

すべてのみなさん、人民の勝利万歳!!

三月一三日 平和への連帯をこめて

そこで、私たちは、一九八四年にアメリカ海軍によって開始されたトマホークの配備が、米ソ超大国の間の軍備競走に、新しい段階を生み出していることを確認しました。それはかつてなかったような海の軍事化をもたらし

人々と熱い連帯で結ばれて下さい。最後
なさんの基金運動への御協力を感謝しま
三月一五日 ホノルルにて

にみ
す。
三月一二日
非核フィリピン連合事務局長
エルモ・マナパット

- ・ソウル大生
からも
反4-LMスピリット
声が!!

ソウル大自治組織会長選で
「ソウル七日」田中特派員 同一の主張を選舉公約に掲げた
ソウル市議は七月、ソウル大学 同大國際經濟學科四年、金竜
の学生自治組織「総學生会」の 呉君(よし)と同大東洋史學科四年、
会長選舉に立候補して、朝鮮民 拓報記者(だいばうしゃくさうじ)の二人を國家保安
主主義人民共和国(北朝鮮)と 法違反の疑いで指名手配した。
ソウル市議は七月、ソウル大学 同大國際經濟學科四年、金竜
の学生自治組織「総學生会」の 呉君(よし)と同大東洋史學科四年、
会長選舉に立候補して、朝鮮民 拓報記者(だいばうしゃくさうじ)の二人を國家保安
主主義人民共和国(北朝鮮)と 法違反の疑いで指名手配した。
韓國の學生が、北朝鮮に同一の主張を公然と晒せるのは極めて
異例のことだ。
調べてみると、金君はソウル
大の総學生会の委員會選舉に立

補)この日開かれた選舉公約にあたって、公約を述べた上記配分の中で、金は子一人のアーチをもつてゐる軍事訓練を中止しなければならないと主張。また、八九年のソウル五輪の南北朝鮮共同開催を要求し、南北朝鮮の首脳会談の前南北学生代表者会談を実現させねばならぬ」と主張した。

また、舊も「立候補の弁」を述べた上で、「立候補の弁」と題するものの中でも「米國によると韓國の核兵器化撲滅のために反戦、反核闘争を開展しなればならない」と述べた。

これに対して、韓國の文教省は七日、「学生自治活動とは全く関係のない過激な政治的問題を選舉公約に掲げたことは、絶対に許すことができない」と主張した。

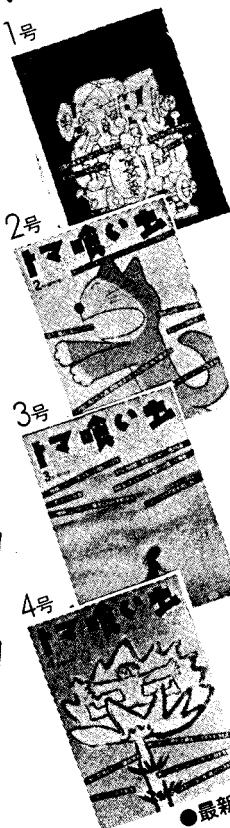
各地の 行動予定

*首都圏 4月下旬にリムパック 参加各国大使間に申入れ。横須賀から出港する自衛隊に抗議行動。
 5/8演習開始日にデモ。6/8 上瀬谷で反基地集会（ウドの会）
 6/29は横須賀へ！ *呉 5/5 岩国の反基地運動と合同セミナー。
 *愛知 5/24、25依佐美 通信基地反対行動 *京都 依佐美の行動を集約点に日本海側の反核キャラバン（約1週間）

今月の会計報告 (3/15以)

(収入)	(支出)
-食費	- 家賃(3月分) : ¥50,000-
-招待・参加 : ¥9,800-	- 印刷代 : ¥4,600-
- 通信会員 : ¥14,000-	- エビ等車船費 : ¥13,380-
- 第3次宣誓署名 : ¥3,000-	- 察行委会場費 : ¥8,000-
- カンパ : ¥15,800-	- 切手(宅急便紙) : ¥75,360-
- 資料売上 : ¥6,600-	- 電話代 : ¥3,690-
- パンフ等売上 : ¥1,300-	- 事務用品代 : ¥5,700-
- 1月の会員登録 : ¥4,128-	- 税費 : ¥4,880-
- 2月の会員登録 : ¥22,3368-	- 翌月への譲り越し : ¥193,178-
合計 : ¥430,888-	合計 : ¥430,888-

comment: 先月分の会計へ先月、譲り越して
 お上りするのを忘れてしまいました。
 今月に赶上して処理してあります。



トマ喰い虫

B5判 32ページ
 250円(1号のみ200円)

トマホーク搭載艦が入港したら
 ハ万キ、電報、電話で抗議・要請を

■マンスフィールド駐日米大使
 東京都港区赤坂 1-10 米国大使館
 03(583)7141

■安倍晋太郎外務大臣
 東京都千代田区霞ヶ関 2-2 外務省
 03(580)3311

■長洲一二神奈川県知事
 横浜市中区日本大通り 1 神奈川県庁
 045(201)1111

■横山和夫横須賀市長
 横須賀市小川町 11 横須賀市役所
 0468(22)4000

●郵便振替 東京6-136149
 (口座名 トマホークの配備を許すな／首都圏連動)

こんな虫みつけた。